



事務局（企画課 政策立案室）

事業実施報告書【オープニングイベント 記念講演会】

○日 時：令和元年6月16日（日） 13:30～15:45頃

○場 所：アンデルセン芸北100年農場

○参加人数：27名

○内 容：①「きたひろ学び塾」事業説明

②講演「みんなで考えるこれからの減災」

講師：岸 真弓（気象予報士・防災士）

③発表「私たちの挑戦」

発表者：芸北アンデルセン 100年農場 農場長 亀岡 大介

★アンデルセンのお菓子とジュース付

【感想】

・気象予報士 岸 真弓さんの講演では、近年の大雨災害を受け、「自分の命、大切なもの、財産を守る力」をつけること、“自分は大丈夫”といった曖昧な自信は持たず、気象情報・警戒体制について関心を持つこと、また、時折、天気予報のマークの見方などのクイズを交えられ、フランクな雰囲気の中で自分自身のこととして考えることができた内容でした。

・芸北アンデルセン 100年農場長による発表「私たちの挑戦」では、“土づくりから食卓づくりまで学ぶ”を理念に、2004年から芸北：八幡地域で研修生自ら農地を開墾し、小麦を栽培し、パンを作るといった研修制度を始められた経緯、また、廃校となった八幡小学校を活用し、地域行事にも参加されたり、企業が地域活性化の一端を担っているのだなと思う内容でした。

・会場は、旧八幡小学校からかなり山の中にある場所だったので、初めて来られる方にとっては「ほんまにここ？大丈夫？」と不安になられたと思いますが、アンデルセンの取組みを肌で感じて頂きたくてこの場所にしました。

※当日は、あいにくの大雨で開催が危ぶまれましたが、講演が始まる頃には雨もやみ、カーテンのない大窓で、高い窓からは木漏れ日の中でいい雰囲気でした。

